

§一 やまだや・前（夕）

安いスピーカーから流れる「寺内タケシ」風にのって小学生の山田新吉（十一）が歩いてくる。「中華料理店・やまだや」へ入って行く、新吉。

§二 やまだや・店（夕）

新吉、入ってくる。
厨房で餃子を焼いていた父親（四三）がカウンタ―に用意されていた皿に餃子をのせている。
店の客テーブルを雑巾で拭いてる、母親（三八）。
客はひとりもない。

母親、新吉に「おかえり」と首で言う。
新吉も「ただいま」と手で返す。
厨房の父親、向き直り無表情に作業を続ける。
新吉、カウンター脇を通り、二階に向かう。
途中で焼きたての餃子をひとつ失敬する。
一瞬父親を見た後、二階へ向かう、新吉。
父親も母親も気づいていない。
同時に電話がなる。
母親、電話機に向かう。

§三 やまだや・新吉の部屋（夕）

新吉、部屋に入ってくる。失敬した餃子を口にいられてもぐもぐやっている。
乱暴に鞆を学習デスクの上に置く。
鞆からポケットゲームを取り出す。
ポケットゲームを持って丸まった布団の上にジャンプ一発、転がる。

ゲームを始める。ゲーム開始音。
楽な姿勢でゲームをする、新吉。
階段をのぼる足音。

母親がやまだやのユニフォームを手にとって
顔を出す。

新吉、母親に気づかずゲームを続けている。
母親、ドアを強くノックする。

顔を上げて母親を見る。

母親、ユニフォームを広げて新吉に見せる。

新吉、ポケットゲームに目を戻し、知らん顔す
る。

無視された母親、ドタドタと新吉に近づく。
耳を引つり、新吉の体を起す。

§四 絵・正しい中華料理の出前持ち

よいこの絵本風。

正しい中華料理の出前持ちの絵。

モデルはヒゲが濃く、頭の禿げた中年男。

赤い大きな マークが絵を囲んでいる。

§五 やまだや・店(夕)

ふてくされた様子でユニフォームを着た新吉
が二階から降りてくる。

母親、新吉に近づき、白い長靴を「履きない」
と差し出す。

新吉、首を振って嫌がる。

母親、しゃがみ込んで長靴に履き替えさせよう
とする。

抵抗する、新吉。

いつのまにか厨房から出て来た父親がの頭に
ゲンコツをひとつ。手には餃子の皿
を持っている。

皿には四つの餃子。

※六 絵・餃子の比較

皿に盛りつけられた五つ餃子と四つの餃子が比較されている絵。
四つの餃子には赤い大きな×マーク。
餃子を焼く音。

※七 神社・境内(夕)

出前の箱を持って神社の前を通過していく、新吉。
神社の境内には大型バイクが停まっている。
新吉、バイクに気づいて駆け寄る。
出前の箱を地面に置く。
嬉しそうにバイクをいろんな角度から眺める、新吉。
辺りを見回す。
誰もいない。
ゆっくりとバイクにまたがる。
ハンドルを取り、運転しているつもりになる、新吉。
本物のエンジン音が聞こえ始める。

※八 想像・アメリカン・ハイウェイ(昼)

想像のふちどり画面。
背景のみCG。人物はコマ撮り。
新吉の運転するバイクがハイウェイを走る。
英語の看板が点在して見える。
新吉、周囲を見回しながら悠々と走る。
大型トラックの走行音が突然近づく。
「あ！」と前を見る、新吉。
前から大型トラックが新吉に向かって走ってくる。
新吉、慌ててハンドルを切る。

㊦九 絵・危険マーク

道路標識・危険マークの絵。
衝突音。

㊦一〇 神社・境内（夕）

バイクの下敷きになっている、新吉。
新吉の足から血がにじんでいる。
新吉、脱出しようともがいているが、バイクは重くてびくともしない。
もがき続ける、新吉。
突然、新吉の肩をたたく手が現れる。
新吉、ハツとして見上げる。
手に救急箱を持ったジャンなまはげ（八九）が立っている。

㊦一一 絵・赤十字のひと

新吉、なまはげの面の老人を恐がり、逃げようとするがバイクはびくともしない。
静かに救急箱を地面に置く、ジャン。
新吉、逃げようともがき続けている。
ジャン、片手でバイクのハンドルを持ち、軽々と起こし上げる。
バイクを元の位置に戻す、ジャン。
新吉、信じられない顔でジャンを見る。

㊦一二 神社・境内（夕）

赤十字のユニフォームを着たなまはげの絵。
手には救急箱を持っている。
新吉の傷ついた足にガーゼをあてる、ジャン。
傷口がしみるのか痛そうにする、新吉。
ジャン、優しく静かに治療を続ける。
救急箱から包帯を取り出す。
新吉の足に巻きはじめ。

新吉、その様子を静かに見続けている。
包帯を固定する。

「これでOK」と新吉の肩をたたく、ジャン。
きよとんとしたままだ動けない、新吉。

ジャン、救急箱の蓋を閉める。

突然、ふわりと消える、ジャン。

新吉、驚いて消えたジャンを探してきよろきよ
ろと見回すが、ジャンの姿はない。

【つづく】

§一三 やまだや・前（夜）

空舞台。

やまだやの看板の電気が消えている。

商店街の音楽もない。

犬の遠吠えひとつ。

§一四 やまだや・新吉の部屋（夜）

新吉、幸せそうな顔をして眠っている。

§一五 夢・新吉の部屋（夜）

夢のふちどり画面。

眠っている、新吉。

窓外から新吉の寝顔をのぞく、ジャンの姿。

気づかずに眠り続ける、新吉。

ジャン、静かに窓を開けて入ってくる。手には
いつもの救急箱。

風が吹き、カーテンが揺る。

ジャン、新吉の枕元に座て新吉の寝顔をのぞき
込む。

新吉、気配に気づいて目を覚ます。

ジャン、新吉の手をつかみ、そのまま立ち上が
る。新吉、寝ぼけた目をこすりながら一緒に立

ち上がる。
窓に向かつて走り出す、ジャン。新吉も引つ張られように走る。
窓から飛ぶように外に出る、ジャンと新吉。

§一六 夢・夜空（夜）

背景のみCG。人物はコマ撮り。
ジャンと手をつないで空を飛ぶ、新吉。
信じられない顔で街並みを見下ろす、新吉。
新吉、楽しそうに振り返る。
ジャンの顔が恐ろしいなまはげ（ジェイソン）の顔に変わっている。
新吉、びっくりして手を離す。
くるくると回転しながら落ちて行く、新吉。

§一七 やまだや・新吉の部屋（朝）

目覚まし時計のベルが鳴ってる。
母親が新吉の布団を豪快にめくり上げる。
新吉、寝ぼけて「助けて」と母親に抱きく。
母親、新吉の頭に空手チョップ。
新吉、目を覚まして母親を見る。「ああ。助かった！」と安心する。
母親、目覚まし時計を指し示す。
新吉、時計を見る。
七時三五分。
新吉、「遅刻だ！」と慌てて起き上がる。

§一八 道（朝）

怪我の足をかばいながら走る、新吉。
足が痛むのか、走るのをやめて歩き出す。
同時にカラスの鳴き声。新吉、見上げてカラスを探す。
電柱にとまっているカラスが一羽。くちばしに空き缶をくわえている。新吉をバカにした様子

で見下ろしている。

新吉、カラスに「アカン・ペー」をする。

電柱のカラス、新吉に向かってくちばしの空き缶を落とす。

新吉に向かって落ちる、空き缶。

新吉の頭を直撃する、空き缶。新吉、頭をおさえてしゃがみ込む。

電柱のカラス、「カーカー」と鳴きながら「ちくしょう」とカラスを見上げている、新吉。

§一九 神社・境内（昼）

本堂前逆ぬけ。

転がる空き缶の音。

§二〇 神社・境内（昼）

頭にたんこぶの新吉、本堂前の階段に座ってポケット・ゲームをやっている。電子音。

遠くで学校のチャイムが聞こえる。

新吉、ゲームを中断して鞆から筆箱を取り出す。筆箱についている安っぽい時計を見る。

「十二時十五分」。

§二一 絵・空っぱの胃袋

空っぱの胃袋の絵。

腹が「グー」となる音。

§二二 神社・境内（昼）

お供え物のまんじゅうが見える。

新吉、じつとそのまんじゅうを見ている。

続いて、周囲を見回す。

誰もいない。

立ち上がって忍び足でまんじゅうに近づくと、新吉。

境内の陰から新吉を監視するように覗いて

いる、ジェイソンなまはげ(二七)。
まんじゅうの前で立ち止まる、新吉。
慎重に手を伸ばしてまんじゅうをつかむ。
同時に背後から物音が聞こえる。
新吉、びくつとしてまんじゅうから手を離す。

§ 二三 絵・泥棒と警官

警察官に逮捕される泥棒のの絵。
手錠の音。

§ 二四 神社・境内(昼)

慌てて振り向く、新吉。
その背後に救急箱を持ったジャンが着地する。
新吉、びくつくりして逃げようとする。
ジャン、やさしく新吉を見ている。
ジャンだとわかって嬉しそうに駆け寄り、抱き
つく、新吉。
境内の陰から覗いていたジェイソン、逃げるよ
うに消える。
ジャン、「わかった。わかった」とうなづきな
がら、やさしく新吉を引き離す。
救急箱の蓋を開ける。中には大きなおにぎりが
ひとつだけ入っている。
ジャン、救急箱のおにぎりを取り出して新吉に
差し出す。
新吉、「いいの？」とジャンの顔を見る。
ジャン、大きくうなづく。
新吉、申し訳なさそうにおにぎりを受け取る。
ジャンが救急箱の蓋を閉める。
突然、ふわりと消える、ジャン。
「あ」と新吉、ジャンを探す。
ジャンの姿はもうどこにもない。
新吉、ジャンにもらったおにぎりを見る。
先ほど盗もうとした供え物のまんじゅうを振
り返って見る。

おにぎりをもう一度見る。
新吉、歩き出してまんじゅうの所へ行く。
おにぎりをふたつに割り、片方をまんじゅうの横に供える。
新吉のお腹が「グー」となる。
半分のおにぎりをパクリと口に入れる。

【つづく】

§二五 道（朝）

学校に向かって歩く、新吉。
カラスが鳴く。
新吉、素早く反応して立ち止まり、上を見上げる。電柱に昨日のカラスがとまっている。カラス、新吉をバカにするように「カーカー」と鳴く。

新吉、地面に落ちている小さな石を手に取る。その横にはソフトボール大の石。
新吉、しばし考えた後、小さい石を捨てて大きい方の石を手に取る。
体を起こしてカラスをにらむ、新吉。
カラスは知らん顔して悠々と電柱の上にいる。
新吉、ノーwindアップで大きく振りかぶる。

§二六 絵・野球投手

野球投手の絵。スタジアムの歓声。

§二七 道（朝）

新吉が石を投げる。
新吉の投げた石、重すぎたのかまったく違う方向へ飛ぶ。
新吉、「まずい」と手で目を隠す。
ガシャーンとけたたましくガラスが割れる音。

新吉、反射的に逃げようと走り出す。
三步走った所で大きな体にぶつかり、尻もちを
つく、新吉。見上げる。
ジェイソンなまはげが仁王立ちしている。

※二八 絵・豚に似たお肉屋さん

豚のように丸々と太ったお肉屋さんが精肉用
の大きな刃物を持ってこちらを見ている絵。
男性の笑い声。

※二九 道（朝）

新吉、逃げようと尻もちのまま後ずさりする。
ジェイソン、背中から太い縄を出し、新吉に向
かって投げる。
縄、蛇のようにぐるぐると新吉の体に巻きつく。
ジェイソン、そのまま縄を手繰り寄せる。
新吉、クルクルと回転しながらジェイソンに手
繰り寄せられていく。
ジェイソン、新吉を担ぐ。
高飛びの助走のように静かに走り出す、ジェイ
ソン。
ジェイソンの足が地面から離れ行く。
空飛ぶジェイソンと新吉。

※三〇 なまはげの穴・全景（夕）

フルCG。
上空から見たなまはげの穴。
遊園地のような地獄。
ジェットコースターのようなものやパビリオン
のような建物が見える。
巨大な夕陽。
不気味な風の音。

※三一 なまはげの穴・上空（夕）

背景のみCG。

空飛ぶジェイソンと新吉。

なまはげの穴に向かって高度を下げる。

降りてくる、ジェイソンと新吉。

ジェイソン、担いでいた縄を解き、新吉を落とす。

新吉、くるくると回転しながら落ちて行く。

§三三 なまはげの穴・全景（タ）

背景CG（一部フルCG）。

全景。落ちてくる、新吉。

なまはげジェットコースター（のようなもの）が走っている。ジェットコースターのタイヤになまはげの面が貼り付いている。

悲鳴を上げながら回転するタイヤのなまはげたち。

新吉、そのジェットコースターの最前列座席にすっぽりと着地する。

ほぼ直角に上りはじめるジェットコースター。 “カチカチカチ” とギアの金属音。

新吉、訳が分からずおろおろとしている。

スピーカーからファンファールの音。

同時にジェットコースター脇にある巨大モニターが立ち上がる。

§三三 なまはげの穴・モニター（タ）

モニターに映し出される、なまはげXの顔（CG）。じつとこちらを睨む、なまはげX。ライオンのように吼える。

§三四 なまはげの穴・全景（タ）

新吉、ジェットコースターに揺られながらモニターを見る。上り続けるジェットコースター、ほぼ頂上に到着。

※三五 なまはげの穴・モニター（タ）

モニターのなまはげX、手元のキーボードを力チカチと打つ。
画面が変わりバーコードと「999999」の文字。

※三六 なまはげの穴・全景（タ）

ドンという大きな音と共にジェットコースターが頂上から急降下を開始する。
スピードが上がって行くジェットコースター。
新吉、ジェットコースターから振り落とされる。落ちていく、新吉。

※三七 なまはげの穴・地上（タ）

地上に立って上を見上げている、警備員のホセなまはげ（二七）。
落ちてくる、新吉。落ちながら新吉の体が光り、赤ん坊に変身する。
地上に落ちてくる、赤ん坊新吉。
ホセ、赤ん坊新吉をキャッチする。
同時に大慌てで走り出す。

※三八 なまはげの穴・医療室（タ）

赤ん坊新吉を抱いて走って入ってくる、ホセ。
そのままベッドへ走り、赤ん坊新吉を置き、「お願いします」とお辞儀する。
デスク前に座っていた白衣姿のアドルフなまはげ（四九）がゆっくりと立ち上がる。
ホセ、「あとはよろしく」と敬礼して走って出て行く。
ベッドへ移動する、アドルフ。手にバーコードと「999999」と印刷されたインレタのようなシートを持っている。

アドルフ、赤ん坊じょうじをのぞき込み、赤ん坊新吉の胸にインレタをのせる。続いて医療台の上にあるローラのようなも手に取る。

赤ん坊新吉の胸にローラをのせ、コロコロとやる。赤ん坊新吉、くすぐったいのか手足をバタバタやる。

アドルフ、インレタシートを外す。赤ん坊新吉の胸に入れ墨のように貼り付いた、バーコードと「999999」。

アドルフ、医療台にあるじょうじのお面と「ぼんど」と印刷されたチューブを手取る。面裏にポンドをたっぷりとぬる。

アドルフ、赤ん坊新吉の顔にお面をかぶせる。全体重をかけて思いつき押しつける。

赤ん坊新吉、今度は苦しそうに手足をバタバタ。

赤ん坊新吉の顔の皮膚にめり込む、お面。少しはみ出ている、ポンド。

アドルフ、赤ん坊新吉の首に木製のネームプレート「じょうじなまはげ」をかける。

【つづく】

§三九 絵・それから三年

仰向けの赤ん坊じょうじ。

ひざをついて歩くじょうじ。

よちよちあるきのじょうじ。

三つの絵が矢印で表示されている。

その下にサイコロの3の絵。

§四〇 なまはげの穴・独房前（朝）

フルCG。

朝のチャイム。

近未来風の建物が見える。誰もいない。

建物の横に一本の巨大な木。木は複雑にねじれ、生き物のような形をしている。その木にたくさんのおまはげの面が貼り付いている。おまはげたち、皆苦しそうに口を少し開けた状態で目を閉じている。

§四一 おまはげの穴・独房廊下（朝）

細長い独房前の直線廊下を歩く、看守のホセなまはげ。ホセの足音が反響する。

§四二 おまはげの穴・じょうじの独房（朝）

子供部屋のような独房。壁は花の絵、のりもの絵、動物の絵で囲まれている。全体的に明るいついとのペイント。洋間。窓には鉄格子。入口は鉄のドア。ベッド。簡易洗面所。

おまはげ幼児用学習机の前に座って学習する、じょうじなまはげ（三）。机にはおやつのはしとミルクコップ。

おまはげ幼児用学習机。机の正面には液晶二インチモニター。机にはおまはげの形をデザインしたキーボード。ひとつひとつのキーは大きめに設計されている。

画面に現れる問題。

じょうじの手にはペン入力用のペン。

問題出題のキツカケ音。

§四三 絵（モニター）・問題1

【どこがちがうかな？】

草原の図。後ろに馬さん。手前にうさぎさん。うさぎさんに草をあげようとしているおまはげの少年の絵が左右に二つ表示される。間違い探し。

時計の秒針音。

※四四 なまはげの穴・じょうじの独房（朝）

秒針の音。

じょうじ、素早くその部分にペンをあてる。
「ピンポーン」と正解音。

※四五 なまはげの穴・独房廊下（朝）

歩いてくる、ホセ。

立ち止まって小窓から室内をのぞく。

※四六 なまはげの穴・じょうじの独房（朝）

小窓から覗くホセの顔が見える。

じょうじ、学習を続けている。

問題出題のキツカケ音。

※四七 絵（モニター）・問題2

【おなじなまはげはどれとどれかな？】

面の色が違うなまはげが八人。

秒針の音。

※四八 なまはげの穴・じょうじの独房（朝）

秒針の音。

じょうじ、素早くペンで同じグループを選ぶ。
正解音。

小窓から覗く、ホセ「よしよし」と頷く。

※四九 なまはげの穴・独房廊下（朝）

ホセ、うなづきながら小窓から離れて歩き出す。

※五〇 なまはげの穴・じょうじの独房（朝）

問題出題のキツカケ音。

じょうじ、モニターから目を離して振り向く。

鉄格子の窓からこちらを見ている、カラス。

㊦五二 絵（モニター）・問題3

【なまはげのてきはどれかな？】

㊦五一 なまはげの穴・じょうじの独房（朝）

秒針の音。

窓辺に立って首を傾げる、じょうじ。

カラスが訴えるように「カー」と鳴く。

じょうじ、うなづいて机に戻る。

㊦五三 絵（モニター）・問題3

【なまはげのてきはどれかな？】

㊦五四 なまはげの穴・じょうじの独房（朝）

じょうじ、おやつビスケットを持って戻ってくる。

カラス、嬉しそうに羽をバタバタ。

じょうじ、カラスにビスケットを差し出す。

㊦五五 絵（モニター）・問題3

【なまはげのてきはどれかな？】

タイムオーバーの不正解音。

㊦五六 なまはげの穴・じょうじの独房（朝）

突然、非常ベルが鳴り始める。

じょうじ、驚いて振り向く。

カラス、ビスケットを口にくわえて飛んで行く。

㊦五七 なまはげの穴・独房廊下（朝）

非常ベルの音が廊下に鳴り響いている。

緊急事態なのか廊下の壁に取り付けられた赤

いランプが点滅している。
ホセ、あわてた様子で振り向き、逆方向へ走り出す。

※五八 なまはげの穴・全景（朝）

なまはげジェットコースターが走っている。
ジェットコースターのタイヤになまはげの面が貼り付いている。悲鳴を上げながら回転するタイヤのなまはげたち。

※五九 なまはげの穴・医療室（朝）

白衣姿のアドルフなまはげが背中を向けて座っている。アドルフの机にある非常ランプが点滅している。

じょうじの首を持ち、ホセが走って入ってくる。
振り向く、アドルフ。

ホセ、じょうじを無造作にベッドの上に置き、「お願いします」と一礼する。

アドルフ、立ち上がってベッドへ移動する。
ホセ、「あとはよろしく」と敬礼して小走りに出て行く。

アドルフ、医療台にあるインレタのような「x」マークを手取る。

アドルフ、片手でじょうじの体をひっくり返して背中を見せる。

インレタを背中にのせる。

医療台のアイロンを取り、じょうじの背中に当てる。湯気（CG）。

じょうじ、痛そうに手足をバタバタとやった後、気絶する。

アドルフ、インレタのシートを外す。

じょうじの背中に大きな「x」マーク。

じょうじ、気絶したまま動かない。

※六〇 なまはげの穴・じょうじの独房（夜）

月明かりの室内。
ベッドで死んだようにうつ伏せで眠っている、
じょうじ。背中には「x」マーク。
鍵を開ける音。

じょうじ、眠り続けている。

鉄のドアを開けて入ってくる、老人なまは静かに近づき、じょうじの枕元へ移動する。

ジャン、救急箱からガーゼを取り出す。

ガーゼに薬を染み込ませる。

眠り続けるじょうじの背中にガーゼを当ててやさしく治療する。

ジャンがガーゼで背中を拭くとxマークが消えて行く。完全に消える「x」マーク。

ジャン、じょうじの頭をやさしく撫でる。

眠り続ける、じょうじ。

救急箱を閉める、ジャン。

ジャン、立ち上がって出て行く。

じょうじは眠り続けたまま。

入口の鉄のドアが開いたままになっている。

※六一 なまはげの穴・じょうじの独房（朝）

朝のチャイム。

じょうじ、目を覚ます。

ベッドから離れ、洗面台へ移動する。

コップに入った歯ブラシを手に取る。

「あれ？」と振り向く。

開いたままの鉄のドア。

じょうじ、歯ブラシを置き、入口へ歩いていく。

※六二 なまはげの穴・独房廊下（朝）

じょうじが首傾げながら独房から出でくる。

誰もいない廊下。朝のチャイムが鳴り続けている。

トコトコと歩き出す、じょうじ。

第六三 なまはげの穴・独房前（朝）

朝のチャイム。

近未来風の建物が見える。誰もいない。

建物の横に一本の巨大な木。木は複雑にねじれ、生き物のような形をしている。

その木にたくさんのなまはげの面が貼り付いている。なまはげたち、皆苦しそうに口を少し開けた状態で目を閉じている。

とことこと歩いてくる、じょうじ。立ち止まって巨大な木を見上げる。

巨大な木の面たちの苦しそうな顔。

じょうじ、巨大な木に近づく。

すると木から手が伸びはじめ、その手がじょうじ持ち上げる。

驚く、じょうじ。

手はじょうじを上上げる。続いて別の手が伸びて現れ、じょうじを受け取る。

第六四 絵・ジャックと豆の木

ジャックと豆の木の絵。

第六五 木と空（朝）

次々に現れる手によってどんどん上へ行く、じょうじ。

木は空高く伸び、最後の手がじょうじを受け取る。

じょうじ、下を見て怖がる。

最後の手、じょうじを空へ投げる。

じょうじ、放物線を描いて落ちていく。

※六六 空（朝）

落ちていく、じょうじ。
じょうじ、鳥のように手足をバタバタやるがあまり効果なく、そのまま落ち続ける。

※六七 やまだや・前（朝）

安いスピーカーから流れる「寺内タケシ」風。
父親が店ののれんを出している。
そこへ落ちてくるじょうじ。
父親、驚いて振り向く。
ゴムボールのようにバウンドする、じょうじ。

※六八 絵・宇宙人

小さな宇宙人が両手を上げて人間と記念撮影している絵。

※六九 やまだや・前（朝）

父親、逃げ腰でじょうじを見ている。
じょうじ、立ち上がり、少し開いている入口ドアから当然のように中に入って行く。
「おいおい」と父親、あわて追いかける。

※七〇 やまだや・店（朝）

テクテクと入ってくる、じょうじ。
そのまま進み、二階方向へ移動する。
父親、出前の箱をテーブルに置き、「冗談じゃない」とあわてて後を追う。
厨房で洗い物していた母親も何事かと厨房から出てくる。

※七一 やまだや・新吉の部屋（朝）

室内は新吉がいた頃のまま。

仏壇。そこには新吉の写真。
じょうじが入ってくる。
仏壇の前で立ち止まる。

＃七二 やまだや・新吉の部屋（夕）

「＃四」の切り出し。三秒程度。
布団の上でポケットゲームをやっている、
新吉。電子音。

＃七三 やまだや・新吉の部屋（朝）

首を傾げる、じょうじ。
どたどたと慌てて階段をかけたぼる音に続き、
父親が入ってくる。
振り向く、じょうじ。
父親、乱暴にじょうじの首を摘み上げ、そのまま部屋の窓へ移動して窓を開ける。
窓からじょうじを投げ捨てる。

＃七四 やまだや・前（朝）

じょうじ、二階から落ちてくる。
地面におしりから着地する。バウンドする、じょうじ。

＃七五 やまだや・店（朝）

父親、「塩！塩！」と母親に告げる。
厨房に走って塩のビニール袋を取り出す、母親。

＃七六 やまだや・前（朝）

じょうじ、お尻を痛そうに撫でている。
入口ドアが乱暴に開き、父親が塩の袋ごとじょうじに向かって投げつける。
投げた塩の袋、じょうじの顔面に命中する。
じょうじ、後頭部から倒れて気絶する。

「ざまあ見る！」と意地悪そうに見た後、ドアをピシヤンと閉める、父親。
口を開けたまま気絶している、じょうじ。
カラスがじょうじの腹の上に降りてくる。
カラス、くちばしにはさんだ氷をじょうじの口にコロロンと入れる。
「冷たい！」と目を覚ます、じょうじ。
カラス、「カー」と鳴く。
じょうじ、立ち上がる。カラスはじょうじの頭の上にひよいとる。
カラスを頭にのせたまま歩き出す、ジョージ。
カラスもう一度「カー」と鳴く。

【つづく】

☞七七 なまはげの穴・全景（朝）

なまはげジェットコースターが走っている。
ジェットコースターのタイヤになまはげの面が貼り付いている。悲鳴を上げながら回転するタイヤのなまはげたち。

☞七八 なまはげの穴・モニター（朝）

ファンファールと共に立ち上がる巨大なモニター。なまはげXの顔が現れる。
なまはげX、怒っている。ライオンのように吼える。

☞七九 なまはげの穴・全景（朝）

サイレンが鳴り続ける。
なまはげジェットコースターが急停車する。
ジェットコースターに貼り付いた面たち、悲鳴を上げるのを止める。

※八〇 なまはげの穴・モニター（朝）

なまはげX、キーボードに向かってなにやら入カする。

「ドーン」という大きな音と共に画面に現れる、映像。

カラスを頭にのせて歩く、じょうじの姿。

※八一 道（昼）

カラスを頭にのせたじょうじが歩いて行く。

カラス、羽をバタバタやる。

じょうじ、「？」とカラスを見上げる。

カラス、「カーカー」と何か言っている。

じょうじ、空を見上げる。

※八二 空（昼）

空飛ぶジェysonがじょうじの上空で旋回している。

※八三 道（昼）

じょうじ、「あ！」と走り出す。

カラス、頭から離れてじょうじを誘導するように先を飛ぶ。

じょうじ、カラスの後を必死に走る。

※八四 神社・境内（昼）

カラスに誘導されるように境内に入って来る、じょうじ。

走りながら空を見上げる、じょうじ。

※八五 空（昼）

空飛ぶジェysonが猛スピードで降りてくる。

♀八六 神社・境内（昼）

カラス、なにを思ったかジェイソンに向かって飛んで行く。
じょうじ、「だめだめ！」と手でやる。

♀八七 空（昼）

空飛ぶジェイソンが猛スピードで降りてくる。カラスがジェイソンめがけて突進して行く。ジェイソン、背中から太い縄を取り出してカラスに向かつて投げる。
縄、蛇のようにカラスに巻き付き、締め付ける。カラス、苦しそうに首を動かす。

♀八八 神社・境内（昼）

心配そうに見上げている、じょうじ。
カラスが地面にドサリと落くる。
じょうじ、カラスの元へ走る。
カラス、死んでいるようで動かない。
じょうじ、ひざまづいてカラスをのぞき込む。
その背後に着地する、ジェイソン。
ハツとして振り向く、じょうじ。
ジェイソン、縄をじょうじに投げようとする。
次の瞬間、ジェイソンの縄を何者のかの杖がはらう。
飛ばされて転がるジェイソンの縄。
振り向く、ジェイソン。
後ろに立っているのはジャン。
睨み合う、ジャンとジェイソン。
じょうじ、祈るようにジャンを見つめている。
ジャン、ゆっくりと救急箱を地面に置く。
ジェイソン、警戒して身構える。
ジャン、救急箱を開け、中からズルズルと一升瓶を取り出す。

意味がわからず首を傾げる、ジェイソン。

♀八九 絵・お正月

お正月の年始挨拶の絵。年始の挨拶の酒を
持つて挨拶する老人と受ける男。

♀九〇 神社・境内（昼）

一升瓶を前に差し出ししながらジェイソンに近
づく、ジャン。

ジェイソン、警戒して二歩後退。

ジャン、丁寧にお辞儀してジェイソンに一升瓶
を差し出す。

ジェイソン、首を傾げながらも一升瓶を受け取
る。

一升瓶の蓋が突然ロケットのように飛び出し、
ジェイソンの額に当たる。

ジェイソン、そのまま後ろに倒れる。倒れなが
ら一升瓶の口がジェイソンの口にすっぽり入
る。

瓶の酒がジェイソンの口に流し込まれていく。

ゴクゴクと酒を飲む、ジェイソンの喉。

じょうじ、呆気にとられてじっとその様子。

一升瓶の酒が空になっていく。ジェイソンの顔
と手足が真っ赤になっている。ジェイソン、バ
タリと空の一升瓶を地面に倒す。

グーグーと大きないびきをかき始める。

じょうじ、ジェイソンをのぞき込む。

指で腹をつんつんしてみよう。ジェイソン、眠っ
たまま反応がない。

ジャン、死んだカラスの横に座る。

救急箱から絆創膏（×もの）を取り出してカラ
スの腹に貼る。

ジャン、救急箱の蓋を閉める。

カラスの羽が反応して動く。

じょうじ、振り向く。

カラス、羽をばたつかせて飛ぶ。
見上げる、じょうじ。

カラス、元気にじょうじの頭の上に着地する。
おどけてじょうじの頭をくちばしでコツコツ。
じょうじ、嬉しくなつて境内を走り出す。

頭の上にカラスをのせたじょうじがぐるぐる
と境内を回る。ジャンの姿はもうどこにもない。
「ハッ」と気づいてジャンを探す、じょうじ。
カメラはいつの間にか真上に移動。真俯瞰の神
社の境内。ジェイソンは大の字に倒れたまま。
ジャンを探してぐるぐると走り回る、じょうじ。

【おわり】